

3.ファイル名の変更、ファイルの上書き保存マニュアル

どのファイルについても同じですので、ファイル「2021CV-DataBaseAdvance1000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xslm」を用いて説明いたします。

まず、ファイル名を変更するには、

ファイル 2021CV-DataBaseAdvance1000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xslm の各シートに配置されて

いるコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると、次の[図 1]画面が表示されます。

[図 1]

シート名設定	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定11
既定シート現在名	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定12
追加ワークシート名設定	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定13
インターフェース画面設定	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示入力既定番地	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定17
行列入力項目	一覧表付ファイル作成入力設定8	一覧表付ファイル作成入力設定18
ファイル作成コピー用	一覧表付ファイル作成入力設定9	一覧表付ファイル作成入力設定19
一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10	一覧表付ファイル作成入力設定20

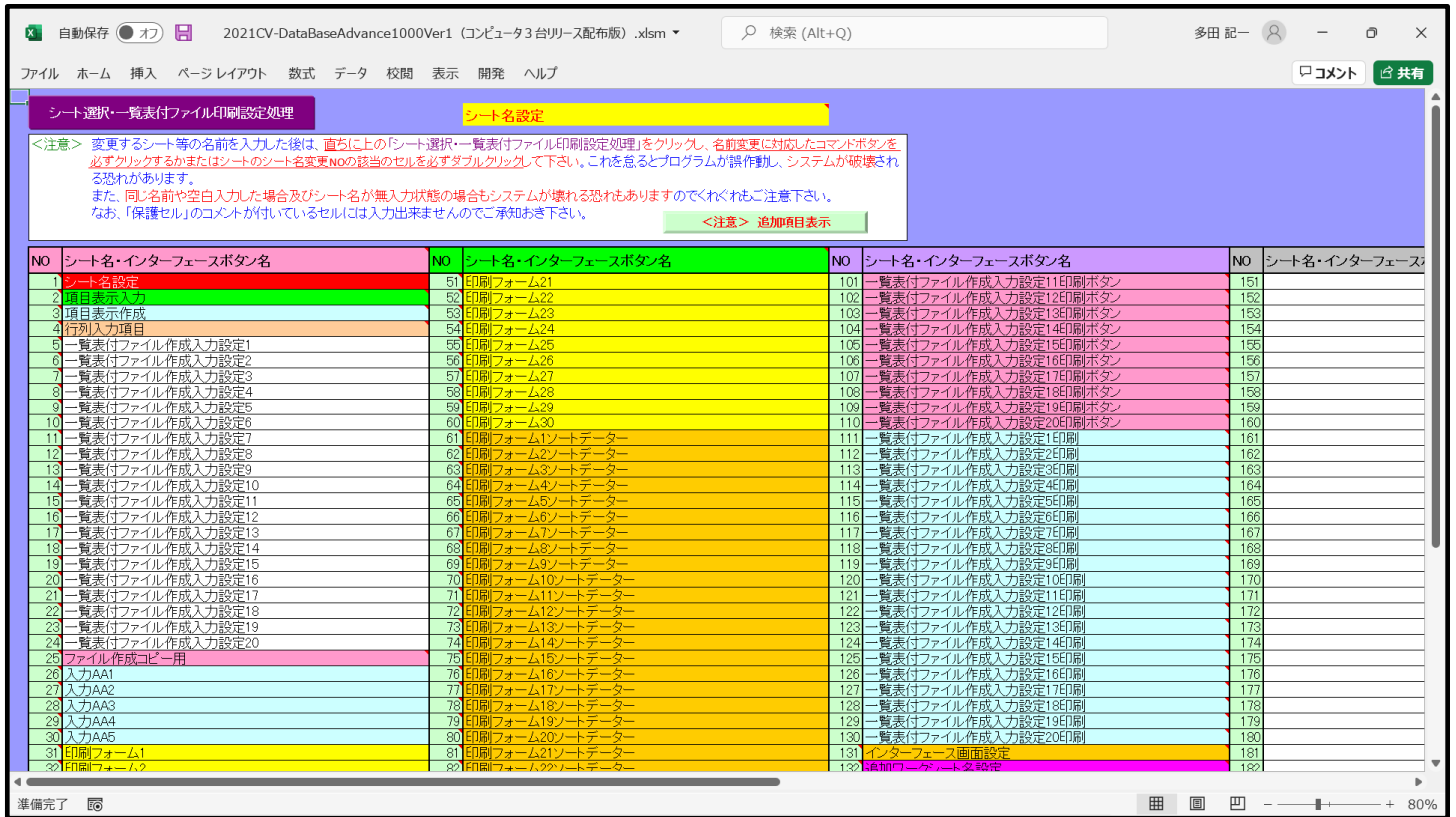
標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の[図 1]のコマンドボタン **標準画面表示** をクリックすると次の[図 2]のようになります。

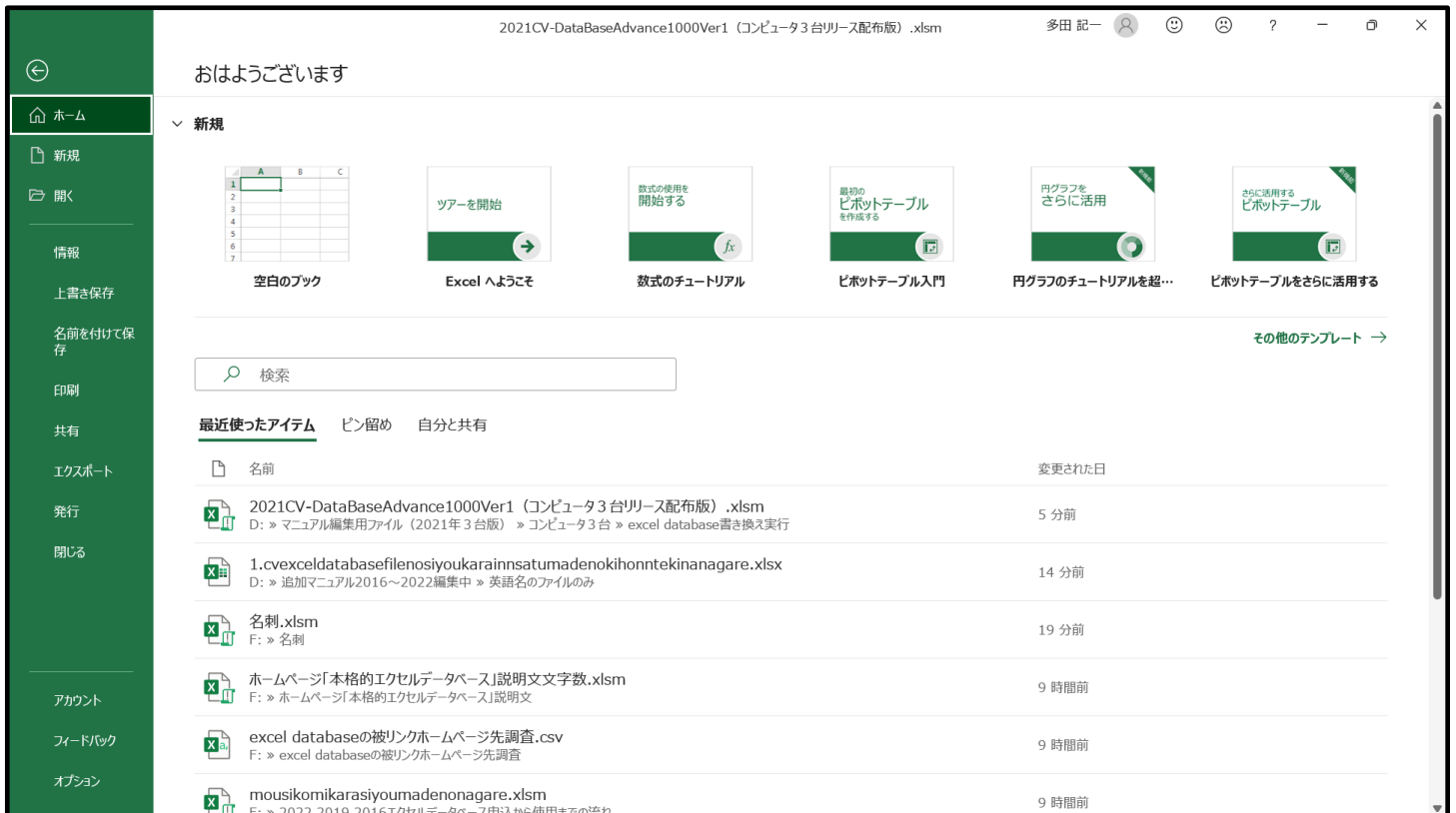
ただし、コマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックした段階でシート「シート名設定」が選択されている場合です。

【図2】



上の【図2】の **ファイル** の部分をクリックすると【図3】のような画面が標示されます。

【図3】



名前を付けて保存

上の[図3]のの部分をクリックすると更に[図4]の画面になります。

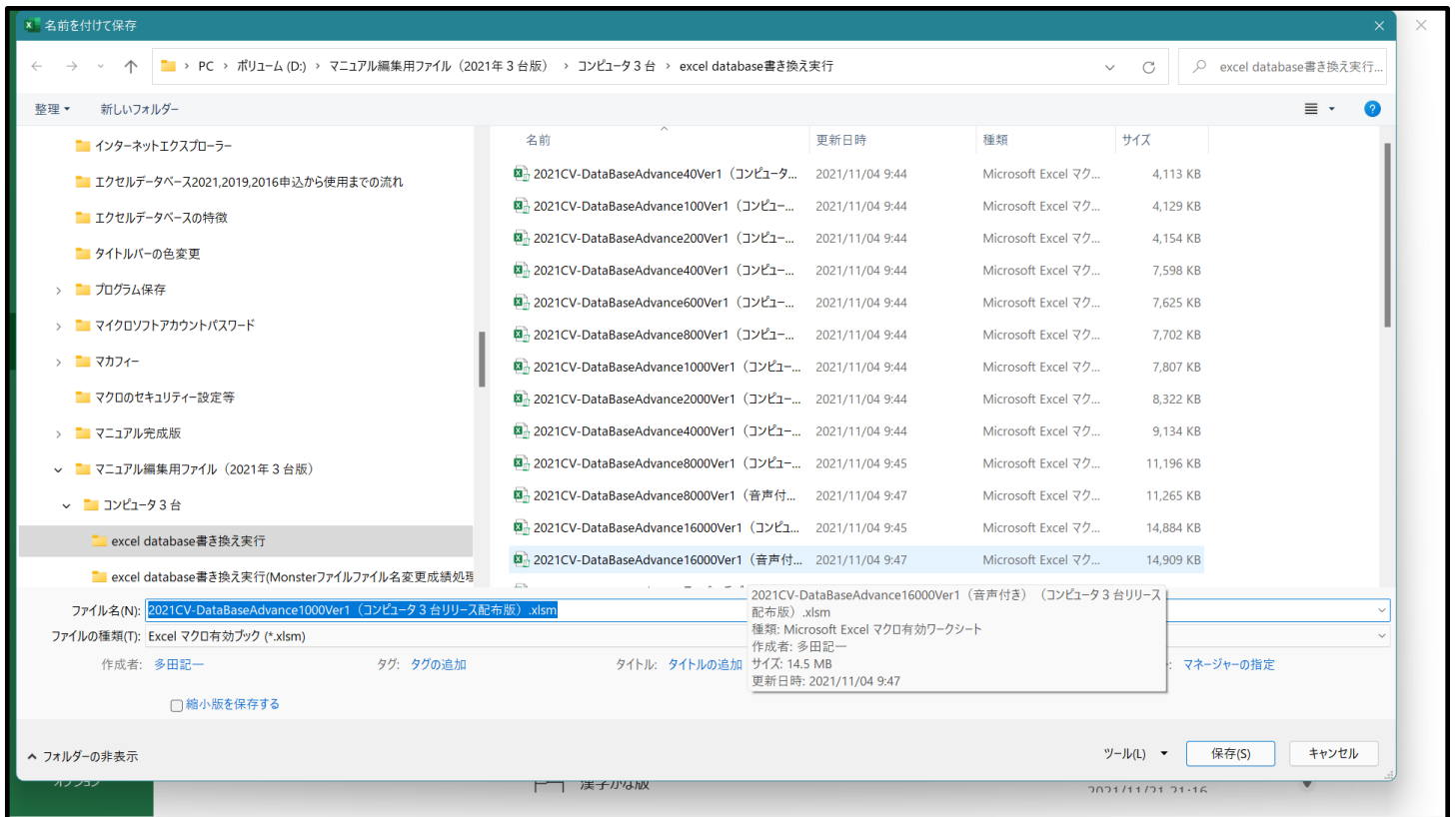
[図4]



参照

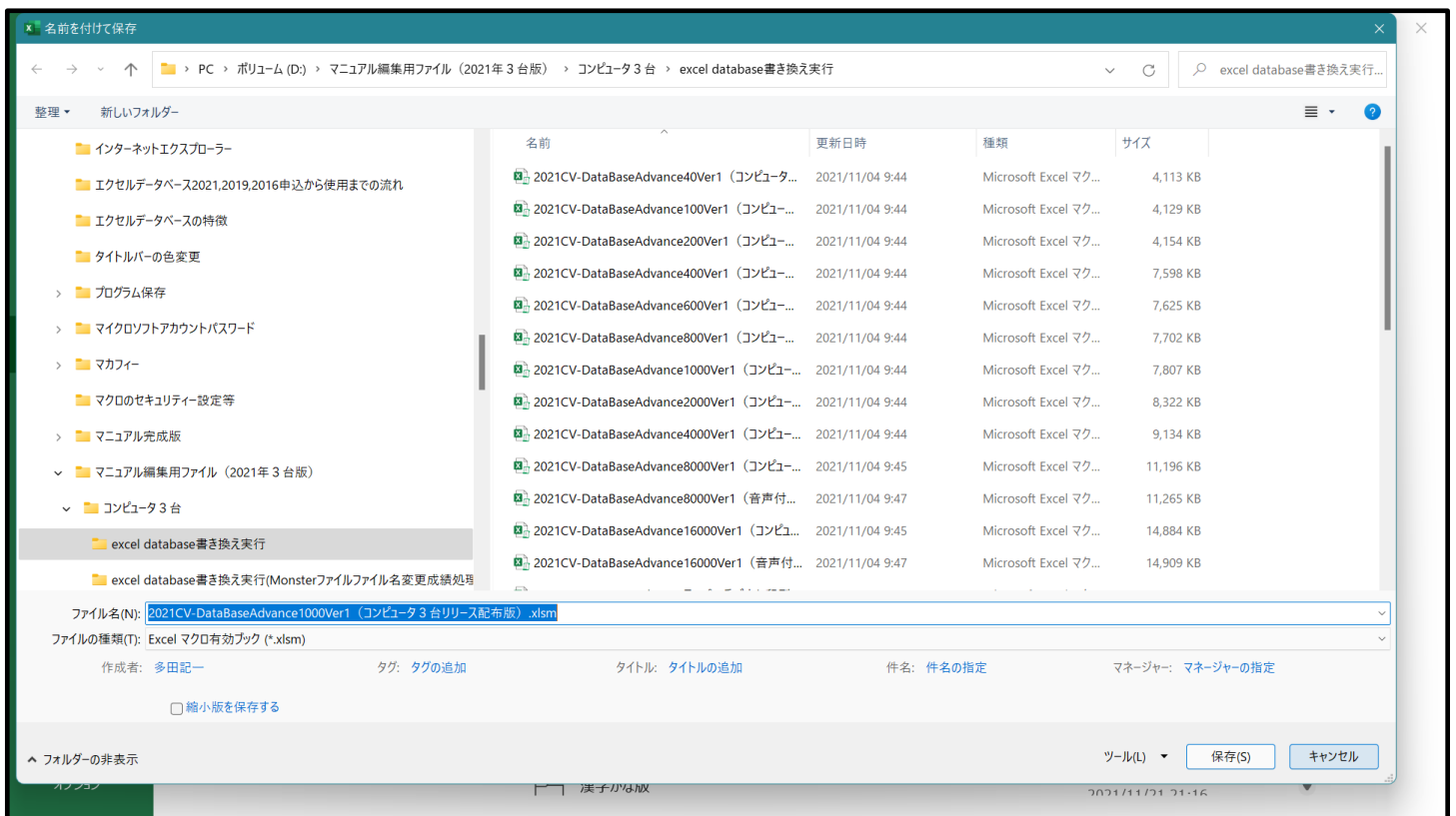
上の[図4]のをクリックすると[図5]のような画面となり、名前を変更して保存するフォルダーが選択できる状態になります。

[図 5]



ここでは私共のパソコンのドライブ「D」、フォルダー「¥2021excel databaase メール送信機能付き新新 4¥コンピュータ 3台¥excel database 書き換え実行」を選択してみると次の[図6]の画面のようになります。

[図 6]



ファイル名 (N) : の欄に **ファイル名(N): 調査書作成システム** と入力し、ボタン **保存(S)** をクリックすると保存されます。保存が完了すると、次の[図 7]の無地の画面が表示されます。

[図 7]



上の[図 7]の任意のセルを選択し、ダブルクリックすると次の[図 8]の画面に戻ります。

[図 8]



ファイルの上書き保存ですが、引き続き標準画面の状態でシート「入力 AA1」を選択したのが次の[図 9]の画面です。

[図 9]

自動保存 オフ

調査書作成システム.xlsm - 保存しました

検索 (Alt+Q)

多田 記一

コメント共有

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

入力可能行数 50 行

入力AA1

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破損につながりますので絶対やらないで下さい。
① 手動操作による行、列、セルの削除及び貼り取り操作
② 第 1 行～7 行、表の最後の削除禁止行及び 8 列、C 列での入力または消去操作
③ データのソート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で実装します。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
来ませんのでご留意ください。

<注意>追加内容呼び出し

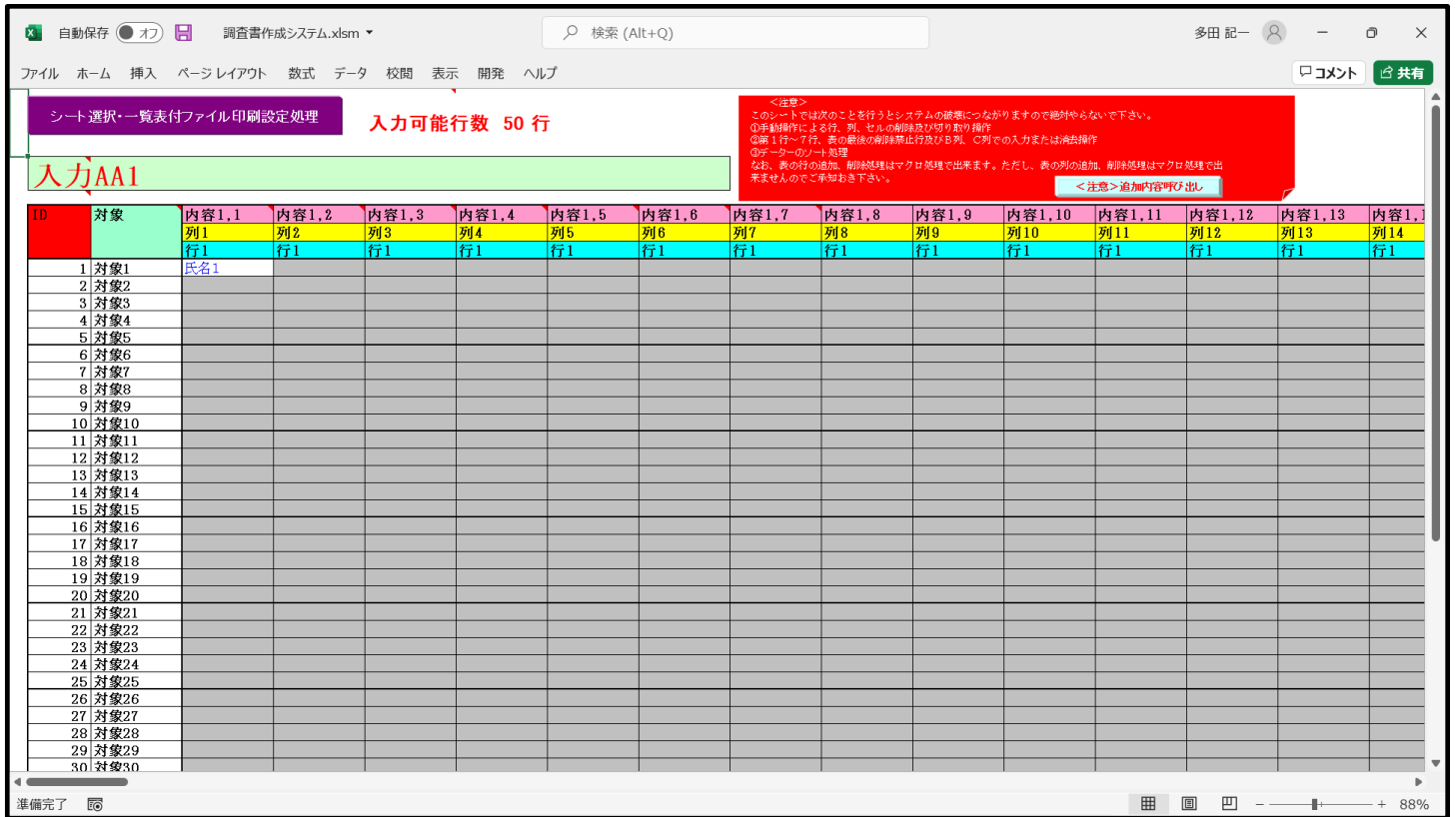
ID	対象	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12	内容1.13	内容1.14
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14
1	対象1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1
2	対象2														
3	対象3														
4	対象4														
5	対象5														
6	対象6														
7	対象7														
8	対象8														
9	対象9														
10	対象10														
11	対象11														
12	対象12														
13	対象13														
14	対象14														
15	対象15														
16	対象16														
17	対象17														
18	対象18														
19	対象19														
20	対象20														
21	対象21														
22	対象22														
23	対象23														
24	対象24														
25	対象25														
26	対象26														
27	対象27														
28	対象28														
29	対象29														
30	対象30														

準備完了

88%

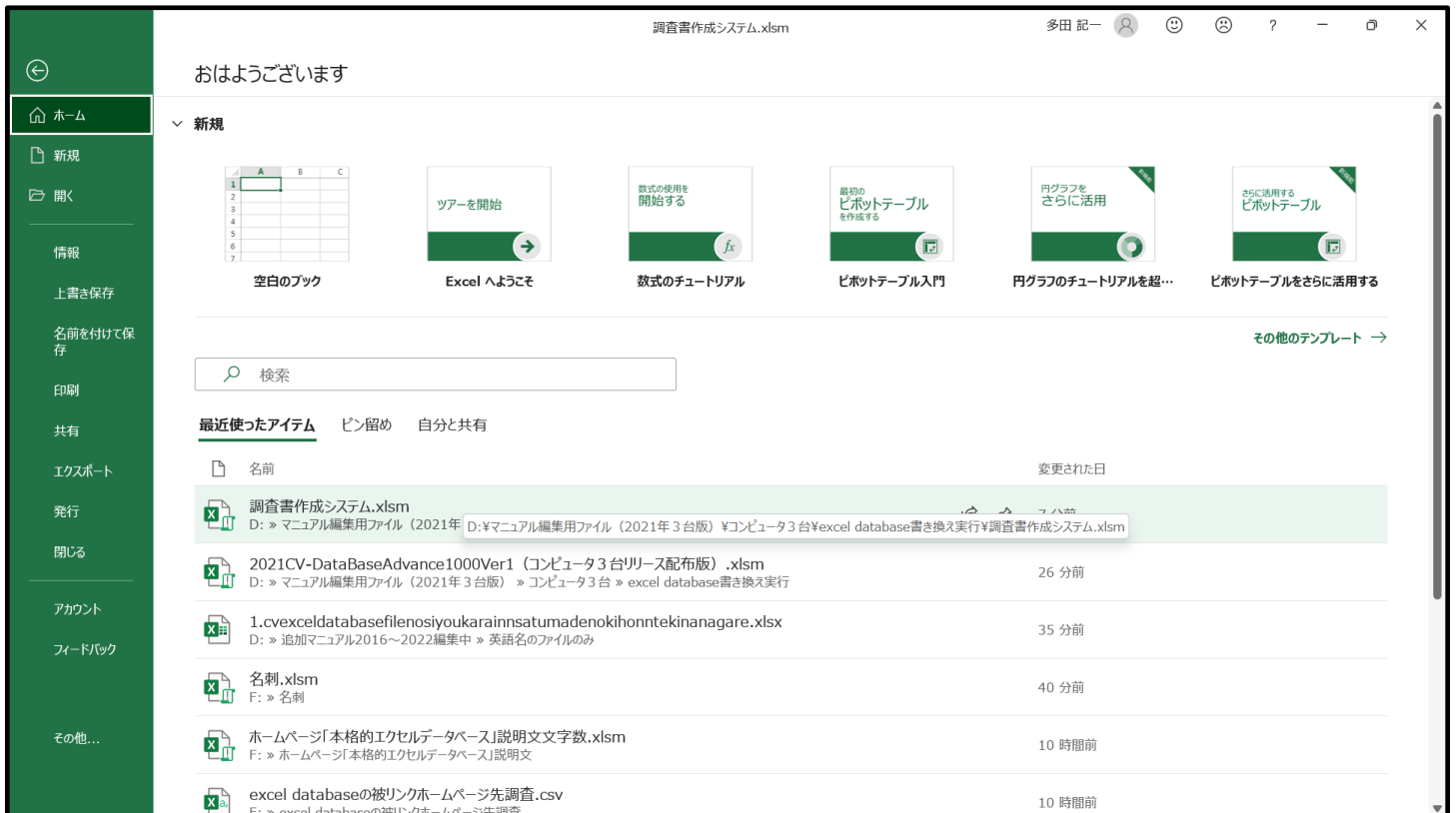
上の図のシート「入力 AA1」の画面で、次の[図 1 0]の画面のように入力してセルの値を変更してみます。

【図 1 0】



そして、上の【図 1 0】の画面で **ファイル** の部分をクリックすると次の【図 1 1】の画面になります。

【図 1 1】



ここで、上の[図 1 1]の画面の **上書き保存** の部分をクリックすると上書き保存されます。保存が完了すると、次の[図 1 2]の無地の画面が表示されます。

[図 1 2]



そして、上の[図 1 2]の任意のセルを選択し、ダブルクリックすると次の[図 1 3]のようにユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」の画面に戻ります。

【図 1 3】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

設定シート等選択・処理呼出1

入力シート等選択・処理呼出2

処理呼出3

処理呼出4

処理呼出5

処理呼出6

処理呼出7

処理呼出8

処理呼出9

入力・編集シートへの空白入力及び消去処理

印刷フォームシート選択

印刷フォームシート印刷

シート名設定	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定11
既定シート現在名	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定12
追加ワークシート名設定	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定13
インターフェース画面設定	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示入力既定番地	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定17
行列入力項目	一覧表付ファイル作成入力設定8	一覧表付ファイル作成入力設定18
ファイル作成コピー用	一覧表付ファイル作成入力設定9	一覧表付ファイル作成入力設定19
一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示

全画面表示

シート見出し表示

シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出

キャンセル

システム終了